

2000年版「ワシントン州住宅産業企業案内」

無料頒布

永らくお待たせしました。今年の「ワシントン州住宅産業企業案内」は制作・編集方法が改善されて新登場しました。今回は州内の主だった72社の企業情報が紹介されています。

従来のように各会社の連絡先（日本での連絡先も含む）、住所はもちろんのこと、Eメールやホームページのアドレスも掲載されているのでインターネット利用人口が増えている傾向に対応した編集になっています。主要製品、サービスや「ひとつこと」欄は引き続き掲載されており、各商品や企業の特徴がでております。

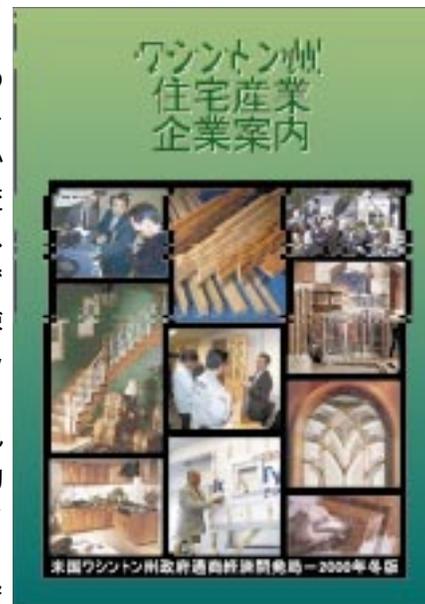
大きく変わったところはすべての情報がデータベースから抽出したため、データ更新が容易にできる。今後は最新情報を頻りに皆様のお手元に届けられるようになります。又、編集

上の改善としては各企業毎に製材と合板、総合輸出業者（コンソリデータ）、プレハブ製造、パネル住宅、プレカット材、内装仕上げ、ドア、窓、キャビネット、家具、石材とタイル、外構、その他の建材、設計、施工全般、その他の業務さらには日本語で対応できるかどうかのチェック欄を設け、該当するものに印が付けられているので、ひとめで企業がどのような業務・商品を取扱っているかわかります。情報量は変わらず、前回よりページ数が少ないので持ち運びやすく、検索しやすくなりました。

掲載企業はいずれも日本市場に積極的で、日本人スタッフはもちろんのこと、日本語に訳された資

料やマニュアルの充実化にも力を入れており、日本向けに極めて細やかな対応をしている企業ばかりです。

入手を希望される方はワシントン州政府日本事務所まで。15ページの資料請求申込書に必要事項をご記入ください。無料にて頒布しております。



講師チェニー氏が輸入ドアに造作材の使い方を説明

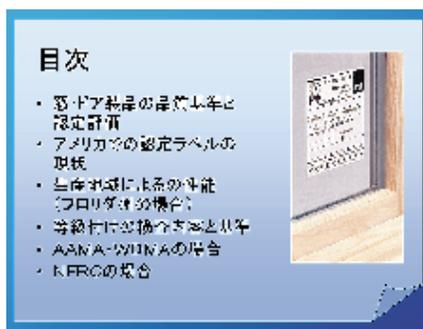
作材のメーカーが業界関係者と共に工務店の皆様のご質問をお受けいたします。特定の商品についてはメーカー代表者からお答えします。又、セミナー出席者には実技セミナーに沿った輸入窓・ドアの取付けに関する技術的な詳細を含む取付け方マニュアルをご用意する予定です。

1998年よりワシントン州政府とA F & P Aの共同主催でたくさんの方々に受講いただいた「輸入窓の取付け方地域対応の耐水防湿対策」を開催してまいりました。1998年秋と1999年

春に日本全国合計16ヶ所で開催し、会場によっては椅子が足りず立ったまま受講していただきました。セミナーの内容はマルチメディアによる講義、壁パネルを使った実技セミナー、そして窓メーカーによるパネルディスカッションで締めくくられました。

次回の技術セミナーのご案内・申込書は5月に郵送されます。ダイレクトメールをご希望の方・このほかのセミナーの詳細をお知りになりたい方は15ページの資料請求申込書をご記入ください。

米国製窓のラベルの見方



去年の12月に行われた「在来工法のための輸入窓・ドア 発注から、取付け・仕上げまで」の技術セミナーで、「米国製窓のラベルの見方」というテーマでキャスケード・コンポーネンツ社の代表取締役社長である小金澤敏明氏が講演をしました。このマルチメディア・プレゼンテーションの内容は、アメリカから窓を購入する際に、どのような性能区分があり、認定ラベルの種類、そしてその制度についての説明がありました。

輸入窓を取付ける際には住宅が建設される地域の気候に合った窓を選択することが大変重要です。価格だけを考慮して製品を選ばないで下さい。例えば米国のビルダーはアリゾ

ナ州のように温暖な気候に適した窓をフロリダやアラスカ等のように湿度が高かったり、寒冷地域には取付けたりいたしません。米国の性能認可制度は日本と異なりますが、仕組みを理解されることは米国製窓をご使用される上で重要だと思われま

す。アメリカ市場で流通する窓、ドア製品の品質を独自にテストし、認定評価する代表的な第三者機関として以下の3団体があります。

A A M A (American Architectural Manufacturers Association
全米建築製造業者協会)
<http://www.aamanet.org/>

W D M A (Window & Door

Manufacturers Association
全米窓・ドア生産協会)
以前はN W W D A (National Wood Window & Door Association
全米木製窓・ドア協会)
<http://www.wdma.com/>

N F R C (National Fenestration Rating Council
全米窓格付委員会)
<http://www.nfrc.org/>

アメリカの窓・ドア認定制度は自発的な制度です。窓のメーカーはどの認定基準を使うか、またはどの検査機関を使うかということは、自社で決めることになっています。アメリカ全土における共通した認定制度が無いために、製品の品質及び性能は地域によって異なります。

アメリカでの認定制度は主に3種

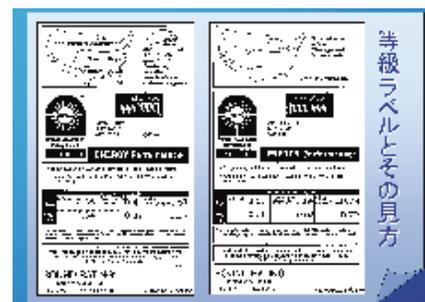
類あります。

- 1) 社内による認定 - 自社で検査・管理・監視
- 2) 協会による認定 - 第三者の検査機関によって検査を行うが、管理及び監視は業界の協会によって管理されます。例としては、N F R C, W D M Aが取上げます。
- 3) 第三者による認定 - これは一番客観的な制度で、ある独立した機関が製品の規格検査を行って、管理及び監視もこの第三者機関によってコントロールされます。この例としてはA A M Aがあります。

講演で使用されたスライドを一部ご紹介いたします。このプレゼンテーションについてのお問い合わせは、キャスケードコンポーネンツ社まで。
T E L : 045 - 475 - 0711
F A X : 045 - 475 - 0731



キャスケード・コンポーネンツ社の小金澤敏明氏



実際のラベルを見ながらの講演